

# なぎさ



病院理念 **人にやさしく 信頼される病院**

基本  
方針

私たちは 皆様の権利や意思を尊重し、納得のいく医療を提供します。  
私たちは 地域に必要な医療を提供し、健やかで豊かな地域社会の実現を目指します。  
私たちは 安全で良質な医療を提供するため、日々研鑽いたします。

日本医療機能評価機構認定病院  
羽咋郡市広域圏事務組合

公立羽咋病院

〒925-8502  
石川県羽咋市の場町松崎24番地  
TEL(0767)22-1220  
FAX(0767)22-5598  
<https://www.hakuihp.jp/>

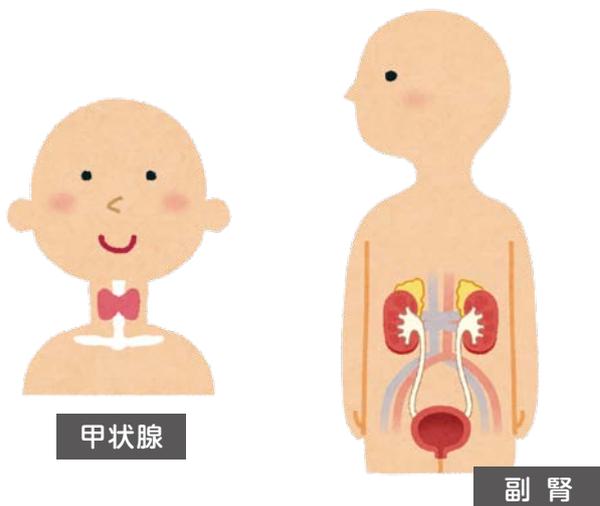
# ホルモンの病気って…?



「先生は何科のお医者さんですか。」とよく患者さんから聞かれます。「内分泌代謝内科医です。」とか「ホルモンを専門とする内科医です。」と答えますが大抵患者さんには首をかしげられます。「内分泌」って何でしょうか。「ホルモン」って何でしょうか。焼肉のホルモンではありません（笑）。男性ホルモンとか女性ホルモンとかは聞いたことがあると思います。簡単に言うと「身体を一定の状態に常に保つために全身から分泌される物質」のことをホルモンといい、そのホルモンを出すところを内分泌臓器といいます。非常に微量ですが効果は抜群で、スプーン1杯分で50mプールいっぱいの水の水質が変わってしまうと言われていています。現在ホルモン類似物質も含めて100種類以上見つかっており、全身いたるところにホルモンを作る臓器があります。

さて、「身体を一定の状態に保つ」ホルモンのバランスが崩れると当然様々な症状が出現します。しかし厄介なのは特徴的な症状というのがなく、他の病気と誤って診断されるケースがあるということです。例えば「胸がドキドキする」。まず思い浮かぶのは心臓の病気ではないでしょうか。しかし時にバセドウ病という甲状腺ホルモンがたっぷり出る病気が隠れている場合があります。また例えば「食欲がない」という症状。これも副腎から出る「コルチゾール」というホルモンが足りない場合や副甲状腺で作られるカルシウムを調節する「パラソルモン」というホルモンが多い場合があります。このように私達が普段感じるごく当たり前の症状が実はホルモンバランスの異常が原因であることが稀ですが存在するのです。

当院の医師は患者さんを診察するにあたり、背景に内分泌疾患（ホルモンの病気）が潜んでいないか目を光らせています。そして、血液検査か画像検査でどうも怪しいとなった場合に私のところに連絡が来て、必要に応じて検査を行います。検査といっても採血や点滴・蓄尿といった患者さんの負担の少ないものが大半ですのでご安心ください。（朝食は抜きとなりますが・・・）。そして更なる精査が必要となった場合は大学病院などの高次医療機関に紹介させていただきますが、ある程度の検査は当院でも行えます。ちょっとでも気になる症状がありましたら気軽に当院を受診してください。



そして、私は症状が多彩な内分泌疾患を通して、患者さんに寄り添う医師でありたいと思っています。何気ない患者さんからの訴えが診断に結びつくことはもちろんですが、仮に内分泌疾患ではなかったとしてもその訴えによって患者さんを全人的に診ることが出来るからです。羽咋病院でお待ちしております。いつでも気軽に声をかけてください。

内科 医長 寺村 千里

# 気をつけよう!咳エチケット

「咳エチケット」はインフルエンザや風邪のような咳やくしゃみが出たときに、周りの人へ病気をうつさないためのマナーです。

咳やくしゃみの中には、大量のウイルスが存在しており、飛沫（口や鼻から飛び出す微粒子）や手指を介して感染は広がっていきます。

## くしゃみ・咳でウイルスが飛ぶ距離は？

- ・咳1回で、約10万個のウイルスが約2m飛ぶ
- ・1回のくしゃみで、ウイルスが3mも飛ぶ。この速度は時速約300km（新幹線の速さ）

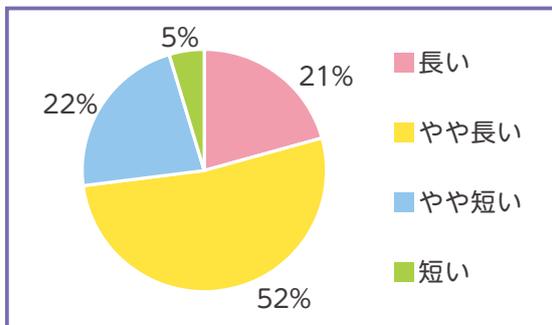
- ①咳やくしゃみができる時はマスクをしましょう
  - ②咳やくしゃみの際はティッシュなどで口と鼻をおさえ、他の人から顔をそむけ1~2m以上離れましょう
  - ③咳や鼻水のついたティッシュはすぐにゴミ箱に捨てましょう
  - ④咳やくしゃみをする際におさえた手や鼻をかんだ手は直ぐに洗いましょう
  - ⑤咳をしている人にマスクの着用をお願いしましょう
- ※マスクは隙間がないように位置を整え、鼻と口をしっかりと覆うようにしましょう  
とくに電車や職場、学校など人の集まる場所では実践することが重要です  
「咳エチケット」で感染を防止しましょう!!



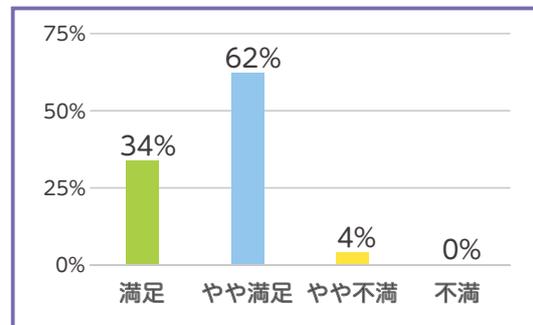
認定感染制御実践看護師 北 信代

## 外来患者満足度調査の結果について

今年2月の2日間、当院を受診された外来患者様を対象にアンケート調査をおこないました。アンケートでは多岐にわたる項目にお答えいただき、当院へのご意見や考えを知ることができました。その集計結果の一部を報告します。



外来の待ち時間



外来患者満足度

全体的な満足度では高評価をいただいておりますが、待ち時間に関しては多くの方が「長く感じている」結果となりました。待ち時間対策の一つとして「診察案内表示システム」を導入する予定です。今後も業務改善や接遇の向上に努めさせていただきます。

接遇委員会

## 新任職員 紹介



よろしく  
おねがいします

外科医師 **金 了資**

血液型・星座：A型 蟹座  
趣味：映画鑑賞

この度、10月より外科に赴任させていただいた金了資と申します。出身は兵庫県です。大学入学を機に石川県に来て10年弱経ちますが、まだまだ慣れないことは多いです。新しい環境に早く慣れて地域医療に少しでも貢献できるように努力しますのでよろしくお願いたします。

## 認知症看護認定看護師の紹介

2025年には認知症高齢者の数は約700万人、65歳以上の5人に1人になると見込まれています。超高齢化社会を迎え、認知症は誰でも起こりうる身近な病気です。

羽咋病院では平成29年に認知症ケア推進委員会を立ち上げました。入院する認知症の方の意思が尊重され、安心して療養生活を送る事ができるよう、また、住み慣れた地域に退院できるよう支援を行っています。

今回認知症看護認定看護師の資格を取得し、実践・相談・指導を通してより質の高いケアを提供できるよう努力していきます。困ったことがあればいつでもご相談ください。認知症の方や家族の方の力になりたいと思っています。



写真右端が認定看護師

認知症看護認定看護師  
四道 昭子

## 救急医療週間に係る街頭宣伝について



毎年9月9日は「救急の日」と定められ、この日を含む一週間を救急医療週間と呼んでいます。9月6日(金)に羽咋消防署員と共に、羽咋市内のショッピングセンター3店舗で、救急車の適正利用や、応急処置、救急の連鎖に関するパンフレットを配布しました。配布物を受け取られた方の中には、「実技があったらよかった」との声も聞かれ、興味を持たれた方も見受けられました。

県内では、昨年度より救急搬送がより短時間で、早期から医療が受けられるドクターヘリが運用を開始し、当院でも4月から一事例利用しています。

外来看護師長 喜多 貴子

## 開放病床運営委員会を開催しました

6月17日に令和元年度の開放病床運営委員会及び懇談会を開催しました。

パーキンソンの方の治療に苦慮しているとの地域の先生方の思いを受けて、金沢医療センター神経内科の坂尻 顕一先生に「パーキンソン病診療の話題」について講演をしていただきました。「治療は難しいという印象、年に1回坂尻先生に診てもらって、薬を調整してもらいたい」との感想が聞かれました。

講演終了後は病院と地域の先生方が自己紹介を行い、懇親会では和やかに話が弾み、意見交換をすることができました。

医療サービス推進室 看護師長 尾崎 真裕美



# 職場 体験

## 中能登中学校 (2名)

体験職種 放射線技師



毎年恒例の職場体験、今回は中能登中学校の生徒さん2名に放射線科に来ていただきました。

「放射線」という普段聞き慣れない言葉、CTやMRIといった大きな装置を前に戸惑いも大きかったことと思いますが、実際の検査の様子や出てきた写真を見たり、装置に触れたり、ここでしかできないことを時間いっぱい体験してもらいました。

今回の体験が有意義なものとなれば幸いです。

放射線科 主任放射線技師 皆見 武

## 宝達高校 (3名)

体験職種 看護師

今年は4階病棟に、将来看護師を目指す宝達高校の2年生が来てくれました。

患者さんが安全で清潔に過ごせるように一緒に環境を整え、お風呂に入れられない患者さんのベッド上での洗髪や足浴、爪切りなどを見学してもらいました。最初は緊張した様子でしたが、患者さんとお話するうちに笑顔がみられるようになりました。

看護の仕事は大変ですがとてもやりがいがあり、その魅力が伝わればいいなと思いお話をさせていただきました。今回の経験を今後の進路に役立てていただけたら嬉しいです。

4階病棟 看護師 鍛冶 友里



## 羽咋中学校 (5名)

体験職種 言語聴覚士



今年もわくワーク職場体験で羽咋中学校の生徒がリハビリテーション科にきてくれました。

リハビリテーション科では理学療法・作業療法・言語聴覚療法・通所リハビリの体験をしてもらいました。最初は少し緊張した様子でしたが、次第に表情も和み笑顔もみられました。

言語聴覚療法では病棟での直接的嚥下訓練の見学もしてもらいました。実際の訓練場面の見学をすることで、少しリハビリのイメージがついたのではないかと思います。また、嚥下障害の方に用いている「とろみ」について説明すると「どんな味ですか？」などの質問が聞かれました。今回の体験を通して将来の職業選択の参考になれば幸いです。

リハビリテーション科 言語聴覚士 松扉 彩世

# やすらぎコンサート

今年度第2回目のやすらぎコンサートを8月8日(木)に開催しました。

今回は、シンフォニアのみなさんをお招きして「どんぐりころころ」、「しあわせなら手をたたこう」、「山寺のおしょうさん」などを披露していただきました。

会場のみなさんと一緒に歌う曲目も多く、会場が一体となって楽しんでいました。みなさん元気に歌う姿が印象的で、とても楽しい時間を過ごすことができました。

医療サービス推進室 社会福祉士 西井 寿文



## ありがとうございます

- ♥ なぎさ表紙題字・絵手紙 辻口 敦子 様
- ♥ 写真 羽咋写真協会の皆様
- ♥ 絵画 羽咋美術協会の皆様
- ♥ 書字 羽咋市書道協会の皆様
- ♥ 俳句 宝達志水町若葦会の皆様
- ♥ 園児の絵 羽咋幼稚園  
こすもす保育園



## いきいき健康づくり教室

♪どなたでも参加できます♪

### コレステロール・あぶらで血がドロドロ

開催予定日: 11/6(水)、12/4(水)、1/8(水)

第1水曜日 15:00~

場所: 管理棟2階講義室

内科医師、管理栄養士、理学療法士

### 高血圧・塩で血管がパンパン

開催予定日: 11/11(月)、12/9(月)、1/27(月)

第2または第4月曜日 15:00~

場所: 管理棟2階講義室

内科医師、管理栄養士

### ねたきりにはならない!

開催予定日: 11/27(水)、12/25(水)、1/22(水)

第4水曜日 15:00~

場所: 管理棟2階講義室

整形外科医師、理学療法士、管理栄養士

## 季節の 写真



## 訂正とお詫び

広報なぎさ第68号(2019年7月29日発行)4ページの記事に誤りがありました。

「ナイチンゲール週間イベント」プチナースの参加保育園

誤) 羽咋幼稚園

正) 白百合幼稚園

読者の皆様ならびに関係者の皆様にご迷惑をおかけしましたことを深くお詫び申し上げます。